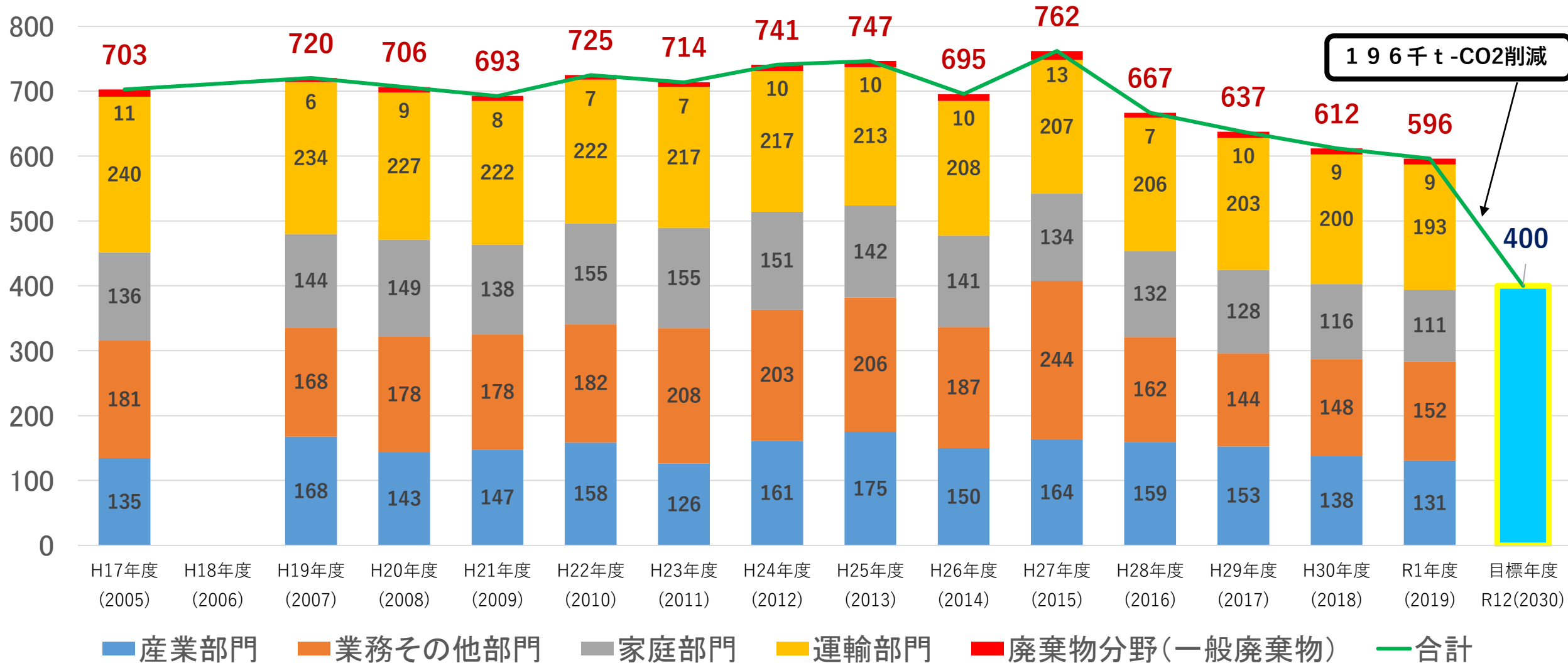


環境施策の進捗状況

環境省自治体排出量カルテによる高山市のCO₂排出量の傾向把握と目標

令和元年度 596千 t -CO₂ ⇒ 目標年度（令和12年度）400千 t -CO₂ あと32.9%削減

部門・分野別 温室効果ガス(CO₂)排出量の経年変化 (単位:千t-CO₂)



1. 自然との共生

1 自然公園に関すること

- 内 容 自然公園の保護と利用の両立を図るための様々な取り組みを実施
国立公園、県立自然公園等の管理
乗鞍岳、県有登山道管理、中部北陸自然歩道管理
乗鞍山麓五色ヶ原の森の運営・管理
御嶽山の国立・国定公園化の推進



高地トレーニングエリアから見える御嶽山

- 概 要 乗鞍岳入込者数推計 61,934名（前年比189.9%、R3年32,845人）
乗鞍スカイライン道路崩落
9月9日（金）早朝
平湯峠ゲートから約1.2km地点
※令和2年7月豪雨災害と同じ場所

乗鞍山麓五色ヶ原の森入山者数 3,452名（前年比149.4%、R3年2,311人）
【営業期間】
5月20日（金）～10月31日（月）



乗鞍山麓五色ヶ原の森

2 飛騨山脈ジオパーク推進事業（協議会、協会の事業を含む）

○内 容 ジオパークの取り組みをきっかけとし、持続可能な地域づくりを実現するため、一般財団法人飛騨山脈ジオパーク推進協会と連携を図りながら、ジオパークの仕組みを活用した事業を実施

○実 績 飛騨山脈ジオパーク推進協議会

出前講座の開催

5/10 25名参加

環境省受託事業平湯地域子どもパークレンジャー事業

5/24 25名参加

ジオサイト調査

6/1材木岩成因調査、6/14～16梓川流路変遷微動アレー調査

一般財団法人飛騨山脈ジオパーク推進協会（7/1～）

日本ジオパークネットワーク活動

全国研修会参加及びWeb会議形式での参加

出前講座の開催

丹生川中、栃尾小、斐太高校他 7回134名参加

ジオパネル展示

11/6奥飛騨温泉郷町協文化祭、11/12上宝支所防災訓練

高山市委託事業

自然体験等造成事業

検討委員会4回（10/5、10/20、10/26、1/20）

モニターツアー3ヶ所（11/14、16）

プロモーション業務（中京圏3回開催予定）

教育促進業務（学習教材作成等予定）



5/24 平湯地域子どもパークレンジャー事業



11/14 自然モニターツアー（丹生川町）

3 白山ユネスコエコパーク推進事業

○内 容 平成28年3月に白山ユネスコエコパークが拡張登録され、荘川町全域が対象地域になったことを契機に、市民に白山ユネスコエコパークに関する理解促進を図るため実施

○実 績 ・ 県天然記念物「山中峠のミズバショウ群落」保全活動 指導：岐阜大学安藤准教授

実施日	実施団体	活動内容
6/12、11/20	山中峠ミズバショウを守る会	野生動物の食害、侵入防止電気柵設置
6/24、9/2、9/16、11/8	荘川小学校5年生	肉穂花序保護袋かけ、郷土学習（ミズバショウ）

- ・ 白山ユネスコエコパーク協議会参加
- ・ 白山ユネスコエコパーク荘川体感ツアー
 開催日 9月14日（水）
 参加者 13名
 内 容 ダナ高原での野菜収穫、そば打ち体験



ダナ高原での高冷地野菜収穫

- ・ 白山ユネスコエコパークフェア in イオンモール白山
 開催日 12月4日（日）
 会 場 イオンモール白山 西コート
 内 容 ステージイベント、パネル展示、映像紹介、
 フォトスポット、ネイチャークラフト体験、
 足跡スタンプ、特産品の販売



イオンモール白山でのクラフト体験

4 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会

○内 容 「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画」に基づく、連携の拠点となる協議会を設置することにより、地域一体となった取り組みを推進し、中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化を目指す

- 実 績
- ・ 乗鞍岳エコツアーリズム全体構想の推進
 - ・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森の活用促進事業
 - ・ 地元団体と連携した各種事業の実施、支援（県と共同）
 - ・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森ガイド人材育成研修会
鳥研修6/15、おもてなし研修8/4、SDGs研修11/2
 - ・ 第8回夏山フェスタへの出展（6/11～12）
出展者 乗鞍山麓五色ヶ原の森、銀嶺荘、乗鞍国際観光(株)
 - ・ 松本高山Big Bridge構想実現プロジェクトの推進
中部山岳国立公園及び周辺地域におけるモビリティ活用調査提案業務
 - ・ 中部山岳国立公園活性化ニュースレターの発行
7月、10月、（24,000部）、1月（23,500部）高山市内全戸へ新聞折込、協議会関係団体等へ送付、市役所等の窓口で配布



ウインクあいち 第8回夏山フェスタ



中部山岳国立公園活性化ニュースレター

5 特定外来生物防除事業

○内 容 特定外来生物（オオハンゴンソウ、オオキンケイギク）から高山市の生態系や景観を守るため、重点地域において駆除作業を行うとともに、市民に対する防除啓発や防除活動の参加を図る

○実 績 重点地域を設定し特定外来生物の防除を実施

①市指定天然記念物「小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群」地域（清見町夏厩地内）

②中部山岳国立公園周辺地域（丹生川町久手地内～平湯地内、乗鞍スカイライン手前）

③せせらぎ溪谷県立自然公園周辺地域（清見町坂下～大原地内）

防除手法 掘り取り、刈り取り、除草剤

防除量 2, 420kg

特定外来生物防除講習会及び出前講座の実施

特定外来生物に関する正しい知識の普及、防除方法の周知、防除活動の拡大を目的に開催

講習会：6月28日（火）、29日（水） 参加者：24名

出前講座：7月7日（木）、13日（水） 参加者：26名

オオハンゴンソウ撲滅大作戦 in 清見 8月7日（日）

参加者 21名 防除量 280kg

オオハンゴンソウ撲滅大作戦 in 平湯 9月4日（日）

参加者 11名 防除量 300kg

特定外来生物防除奨励金の交付

特定外来生物の駆除活動を行った3団体に対し奨励金を交付

防除量 1, 940kg

交付額 35, 400円



8/7 オオハンゴンソウ撲滅大作戦

2. 地球環境の保全

1 薪ストーブ・ペレットストーブ及びボイラー導入に対する補助事業

○内 容 地球温暖化対策の一環として、市民、事業所による新エネルギーの利用を促進し、低炭素社会の構築と市内の地域経済の活性化に資するため、木質バイオマスを燃料とするストーブ、ボイラーの購入に要する経費の一部を助成

○対象者 市民、市内に事業所を有する事業者、町内会

- 助成概要
- ①ペレットストーブ等導入促進補助金
ペレット・薪ストーブの購入に対する助成
本体購入経費の3分の1以内の額 上限10万円
 - ②ペレットボイラー等導入促進補助金
ペレット・薪・チップボイラーの導入に対する助成
設備費及び工事費の3分の1以内の額 上限30万円
ただし、出力4万kcalを超える大型ボイラー 上限500万円

○実 績

ペレットストーブ	16台	1,600千円	
薪ストーブ	41台	3,926千円	
ボイラー	0台	0千円	
合 計	57台	5,526千円	※1月末現在

○効 果 これまでの総導入台数1,140台（ストーブ1,135台、ボイラー4台、大型ボイラー1台）によるCO₂削減効果は、合計で2,184 t-CO₂/年（灯油約87.7万リットル年相当）



臥龍の郷チップボイラー（一之宮町）

2 高山市自家消費型太陽光発電設備等導入事業補助金

○内 容 脱炭素の推進と災害時の安心安全を確保するため、住宅の太陽光発電設備や蓄電池の設置に要する経費の一部を助成

○助成概要 太陽光発電設備 70千円/kWと価格（工事費込み・税抜き）（円/kW）とを比較して少ない方の額
・上限5kW
蓄電池 価格（工事費込み・税抜き）の1/3の額・上限5kWh

○主な要件

- ・市民が自ら居住する住宅が対象であり、別荘などは対象外
- ・FIT制度やFIP制度の認定（売電）や自己託送を行わないもの
- ・発電した電気量の30%以上を太陽光発電設備を設置した住宅の敷地内で自ら消費すること

○実 績

太陽光発電設備	2件	630千円	※1月末現在
蓄電池	2件	492千円	※1月末現在

3 匠の家づくり支援事業

○内 容 市産材の需要拡大及び地場産業の活性化を図り、高山市の健全な森林づくりを推進する

○助成概要 建築主や建築場所により補助のタイプが異なり、以下の3種類に分かれている

タイプ	市内建築主(市内)型	市内建築主(市外)型	市外建築主型
補助対象者	建築主	建築事業者	
建築主	市民又は市内法人		市外の個人又は市外法人
建築場所	市内	市外	市内・市外
補助内容	主な構造材への市産材の使用量に応じ1㎡あたり2万円	主な構造材への市産材の使用量に応じ、1㎡あたり2万円をかけた額を上限として、建築事業者が建築主に贈呈する目的で市産家具などの木製品を購入した額	
補助限度額	30万円		
建物の種類	住宅、別荘、店舗、事務所等		

○主な要件

- ・ いずれのタイプも、主な構造材に市産材を60%以上使用することが要件
- ・ 市内に本店、支店又は営業所がある工務店が建築する建築物
- ・ 市税の滞納者でないこと

○実 績 棟数見込み 120棟 交付額見込み 31,000千円

4 木の駅プロジェクトと「積みマイカー」間伐材収集運搬事業

○内 容 木の駅プロジェクトは、NPO法人 活エネルギーアカデミーが林地残材の搬出を促進し、その支払いに地域通貨を活用することで地域経済の活性化を図る取り組み・「積みマイカー」間伐材収集運搬事業は、市がNPO法人 活エネルギーアカデミーと連携し、木の駅に集積された間伐材等を収集し、市内のエネルギー原料加工所へ運搬する事業 これらにより、林地残材の有効活用及び市内でのエネルギー活用を図る

○実 績 ・木の駅プロジェクト
・「積みマイカー」間伐材収集運搬事業

集積間伐材 871t 地域通貨522万円分 ※令和3年度実績
(加工先：薪28t、木質チップ537t、用材等306t)
275.85t、1,393.7千円 ※12月末現在



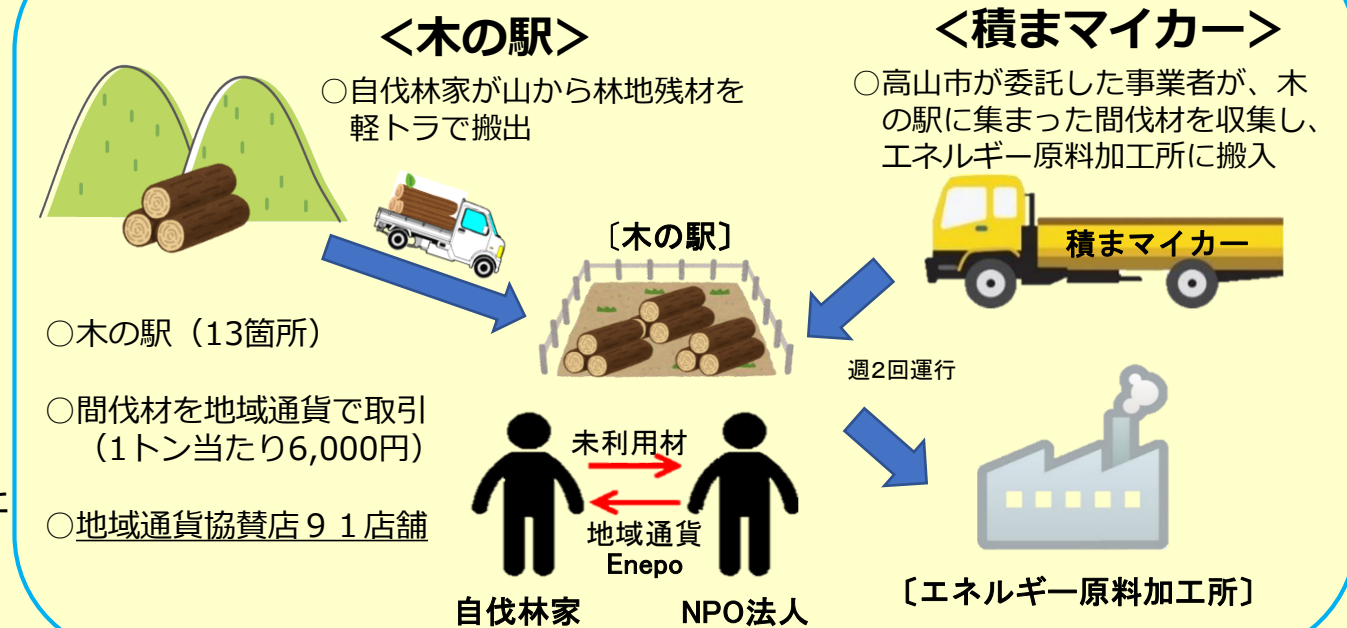
積みマイカーによる運搬作業



圧縮杉技術でできた地域通貨Enepo
(出典:活エネルギーアカデミーホームページ)

- ・NPO法人 活エネルギーアカデミー 受賞歴
- 「間伐材の定期物流システム」と「間伐で生まれた価値を地域内循環させる経済システム」を評価
- 2021年 「グッドデザイン賞」
- 2022年 「JIA環境建築賞優秀賞」
- 「防災・減災×サステナブル大賞2022ジャパン賞優秀賞」
- 「令和4年度気候変動アクション環境大臣賞（普及・促進部門）」

◆木の駅プロジェクト+積みマイカーの地域内循環経済システム◆



5 防犯灯改修等事業補助金

- 内 容 町内会が維持管理する防犯灯の改修（LED化）等への補助
- 助成概要 町内会が維持管理する防犯灯の改修LED化及び、不要な防犯灯の撤去、防犯灯新設に係る経費の一部を助成
- 実 績 申請件数 55件（改修75灯、撤去22灯、新設70灯） 2,800千円 ※1月末現在
- その他 令和4年度で改修、撤去に対する補助は廃止
※制度創設当初の運用期間を超えていること、LED化率が97%を超え一定の役割を終えたと判断

6 環境に配慮した小学校・中学校大規模改修事業

- 内 容
 - ・江名子小学校及び三枝小学校の長寿命化改修にあたり、ペレットストーブの導入、照明のLED化、節水型トイレの設置、内装の木質化等を実施（令和3年度、令和4年度の2か年で実施）
 - ・東山中屋内運動場長寿命化改修
- 実 績
 - ・江名子小学校及び三枝小学校長寿命化改修、3月完成予定
節水型トイレ導入（江名子小33台、三枝小49台）、照明LED化、地域産材を使用した内装の木質化
ペレットストーブ導入（いずれも2か年で江名子小32台、三枝小31台）
※両校とも、太陽光発電（10kW）、蓄電池（15kW）は導入済み
 - ・東山中屋内運動場長寿命化改修、3月契約着工見込み

7 高山エネルギー大作戦

○内 容 自然エネルギーに関する講義や体験を通し理解を深め、市民の自然エネルギー利用促進を図る

○実 績 高山エネルギーフォーラム

開催日 令和4年6月16日（木）

会 場 NPO法人 活エネルギーアカデミー事務局、オンライン

参加者 約70人（オンライン含む）

8 自然エネルギー導入支援事業

○内 容 ①町内会等に対し、アドバイザーの派遣、調査設計（基本設計）に要する経費の助成、自然エネルギー活用支援資金融資などによる支援を実施する

②講師を招き、自然エネルギーについて学習し、知識を得る研修機会を提供する

○実 績 ①アドバイザー派遣

開催日 令和4年4月25日（月）

アドバイザー エヌティ測量(株) 代表取締役 中谷克之氏

派遣先 飛騨あさひ自然エネルギー活用研究会

②自然エネルギーの地域利用推進研修会

開催日 令和5年2月2日（木）

講 師 井上小水力発電(株) 井上博成氏

会 場 国府支所



2/2 自然エネルギーの地域利用推進研究会

9 森林整備におけるカーボンオフセット事業

○内 容 森林整備におけるカーボンオフセット事業（都市部との連携）千代田区との共同による森づくり、市内の森林整備（間伐）を行うことで、森林の二酸化炭素吸収により温暖化対策に寄与するモデル二酸化炭素固定認証制度の推進

○実 績 ・「2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定」（令和4年4月締結）に基づき、カーボンオフセットによる森林整備を実施

間伐 17.46ha
事業費 5,308千円

・千代田区・高山市連携イベント（HIBIYA WOOD DAY）

開催日 令和4年7月16日（土）～18日（月）

会場 東京都ミッドタウン日比谷地下広場

内容 高山市の環境政策取り組みパネル展示、高山市産の木材を使った木工教室、特産品の販売、高山市の食材を堪能できるキッチンカー

高山市第二次地球温暖化対策地域推進計画 (令和3年～令和7年度)

【目指すべき姿】『自然がもたらす多様な恵みを活かすとともに、先進的な脱炭素社会を推進するまち 飛騨高山』

【基本目標】市内における二酸化炭素排出実数ゼロの早期達成を目指す

～ゼロカーボンシティの実現～
 <単位年> 二酸化炭素削減量 60.7万t-CO₂
 森林吸収量 57.8万t-CO₂
 削減率 95.2% (削減率ゼロ達成)
 <目標年> 二酸化炭素削減量 削減ゼロ

【取組の指針】2030(令和12)年度までに、市場からの二酸化炭素排出量を4%以上削減します

【取組の指針】2030(令和12)年度までに、市内における再生可能エネルギー自己比率実質100%を目指します

【基本指針】
 協賛 協賛企業・団体との連携
 協賛企業・団体の導入と活用
 協賛企業・団体の導入と活用
 協賛企業・団体の導入と活用
 協賛企業・団体の導入と活用

高山市環境政策推進部 飛騨高山 ③小水力発電事業

小水力発電とは、山間部や丘陵地等に設置された小規模な水力発電設備により、再生可能エネルギーを供給する発電方式です。環境に優しく、地域経済の活性化にも貢献します。

発電量 (年間) 約 100万kWh

環境効果
 ・CO₂削減量 約 100t
 ・発電効率 約 30%

【発電量】
 発電機 1台
 発電機 1台
 発電機 1台

高山市の環境政策取り組みパネル

3. 快適な生活環境の確保

1 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」配信

- 内 容 3 R（Reduce[廃棄物の発生抑制]、Reuse[再使用]、Recycle[再生利用]）のさらなる推進、適正なごみの分別収集の促進によりごみの減量化・資源化を図るスマートフォンアプリ
- 概 要 ごみの収集日や分別方法などを手軽に確認できるスマートフォンアプリの配信を令和2年8月1日より開始1月24日現在で、利用者は5, 838人

2 家庭用生ごみ堆肥化装置設置補助金

- 内 容 ごみの減量化対策として、家庭の台所から出る生ごみの家庭内処理を推進するため、家庭用生ごみ堆肥化等装置の購入に対し補助金を交付
- 実 績 令和4年度見込み：41件
令和3年度実績：41件、R2年度：35件、H31年度：17件、H30年度：19件
※平成29年度から、過去に補助金の交付を受けた世帯でも、複数回申請することができるようになっており、制度の周知を図り、利用の促進を図る

3 環境配慮行動促進事業

- 内 容 グリーンライフin飛騨への参加（10月より）
- 実 績 SDGs関連イベント参加者へポイントの提供、参加事業者の募集（広報、HP、説明会）

4. 豊かな社会環境の整備

1 歴史遺産等保存活用事業

- 内 容 語り部養成講座の開催、文化財周知説明板の整備、天然記念物等の維持管理及び実態調査の実施
- 実 績 語り部養成講座 4回開催（6/18、10/29～30、11/19～20、12/11）
- ・文化財周知説明板設置 委託費 341千円
 - ①市指定史跡「位山道道標」
 - ②市指定文化財「岩井神社本殿」
 - ③「三日町大塚古墳」
 - ・天然記念物の樹木の実態調査 調査費 1,650千円
国分寺の大イチョウ他111本を対象とした目視による状況調査

2 指定文化財保存修理事業

- 内 容 国指定天然記念物「臥竜のサクラ」の樹勢回復工事、市指定天然記念物「小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群」の保護対策工事、県指定天然記念物「枝垂れザクラ」及び市指定天然記念物「恵林寺のコウヤマキ・イチョウ」の保護処置に対する補助
- 実 績
- ・指定文化財の保存修理
 - ①国指定天然記念物「臥竜のサクラ」 工事費 2,288千円
 - ②指定天然記念物「小鳥峠のミズバショウ含む湿原植物群」 工事費 4,367千円
 - ・指定文化財の保存修理に対する助成金の交付
 - ①県指定天然記念物「枝垂れザクラ」 交付額 777千円
 - ②市指定天然記念物「恵林寺のコウヤマキ・イチョウ」 交付額 357千円

5. 環境にやさしい人づくり

1 河川水質調査（カワゲラウォッチング）

○目的 夏休み中の小学生を対象に河川の水質を知ってもらうとともに、調査の体験を通じて水質保全の重要性を認識してもらう

○内容 宮川（調査地点3か所）の水生生物による水質調査

宮川：二ノ瀬（石浦町）、中橋（本町）、万人橋（桐生町）

○実績 8月4日（木）

参加者27名（小学生16名、保護者11名）

水質判定結果は、全地点で4段階中のⅠ「きれい」またはⅡ「ややきれい」



8/4 カワゲラウォッチング

2 高山市快適環境づくり市民会議

○目的 市民、事業者、団体、行政が一体となって高山市の環境保全に関する取り組みを行う組織の運営と、皆が気持ちでつながれるよう、様々な行事や活動、広報誌の作成・配布を行う

○内容 快適環境づくり市民会議 クリーン作戦、グリーンマーケット、推進大会の開催等

- 実績
- ・クリーン作戦
7月 2日（土） 参加者 70人 ごみ収集量 39kg
10月22日（土） 参加者 200人、ごみ収集量175kg
 - ・グリーンマーケット 6月25日（土） 来場者数702人
 - ・フリマ&リフォーム製品フェア 10月 1日（土） 来場者数600人
 - ・快適環境だよりの配布 2回
 - ・推進委員会 3回開催（4月27日（水）、8月18日（木）、1月26日（木））
 - ・推進大会 令和5年3月開催予定で日程を検討

3 自然環境学習事業（乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用）

- 目的 豊かな自然を有する森に入山することを通して、自然を体感し、生物多様性や自然環境に対する理解を深め、高山を守り育てていくための人づくりに資する
- 内容 乗鞍山麓五色ヶ原の森や、市内にある国立・県立自然公園などにおいて、専門ガイド（森の案内人など）の説明を受けながら、生物多様性や自然環境など学校等の授業の一環として環境学習を実施
- 対象者 市内小中学生
- 実績 乗鞍山麓五色ヶ原の森で小中学生を対象に実施 参加者：621人（15校）
岐阜県立自然公園等で小中学生を対象に実施 参加者：66人（3校）
乗鞍岳で小中学生を対象に実施 参加者：39人（1校）

4 飛騨高山・山の自然学校

- 目的 季節ごとの自然の移り変わりを直接体験することで自然保護に対する関心を呼び起こすとともに、郷土の自然とその保全に関する正確な知識を養う
- 内容 季節に合わせたフィールドや内容で自然観察会を5回開催
- 参加者 市民 延べ75名参加
- 実績 ① 5/21（土） 15名 第1回「春の奥山の自然観察会」（新穂高周辺）
② 6/25（土） 21名 第2回「新緑のおおくら滝観察会」（おおくら滝）
③ 7/30（土） 21名 第3回「乗鞍自然観察と外来植物除去活動」（乗鞍岳・夫婦松駐車場）
④ 9/4（土） 中止 第4回「奥飛騨の大地と化石の観察」（福地山）
⑤ 10/22（土） 11名 第5回「紅葉の宇津江四十八滝観察会」（宇津江四十八滝）
⑥ 1/28（土） 7名 第6回「冬の里山の自然観察」（松倉山周辺）

※④は大雨の影響により中止



7/30 乗鞍自然観察と外来植物除去活動（乗鞍岳）